

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	仙波糖化工業株式会社
【英訳名】	Semba Tohka Industries Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀川 駿太郎
【本店の所在の場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 芝山 哲
【最寄りの連絡場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 芝山 哲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 前第1四半期 連結累計期間	第67期 当第1四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	3,469,255	3,631,435	14,232,263
経常利益(千円)	25,095	49,801	74,468
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失()(千円)	16,901	16,813	19,409
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	35,409	88,908	184,828
純資産額(千円)	6,635,546	6,853,619	6,855,784
総資産額(千円)	16,160,812	15,785,767	15,772,606
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	1.48	1.48	1.70
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	41.1	43.4	43.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第67期第1四半期連結累計期間及び第66期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

第66期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和などの経済政策効果もあり、一部には回復の兆しがみえるものの、新興国の景気減速懸念や為替・株価の大幅な変動もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、円安に伴う原材料価格高騰や電力コスト上昇もあり、当社グループを取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは粉末茶や昨年に新工場を完成させた冷凍製品などの自社商材拡販に加え、中国市場への本格参入に向けた諸策に注力してまいりました。その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は36億31百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

製品の種類別区分売上高では、カaramel製品は、飲料向け製品及びデザート関連製品が増加し、7億86百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。乾燥製品類は、粉末茶販売が増加しましたが、具材などの凍結乾燥製品が減少し、12億19百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連の造粒製品が増加し、8億48百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。冷凍製品は、新工場で生産する冷凍山芋及び冷凍和菓子が増加し、4億98百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。その他は、調味料関連製品が増加し、2億78百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、コスト削減策の浸透もあり、営業利益は56百万円（前年同四半期比71.5%増）、経常利益は49百万円（前年同四半期比98.4%増）、特別損失に投資有価証券評価損を6百万円計上した結果、四半期純利益16百万円（前年同四半期は四半期純損失16百万円）となりました。

なお、当社グループは食品製造販売事業の単一セグメントであるため、事業の内容を製品の種類別区分売上高にて記載しておりますが、この度、グループ経営強化を目的として製品の種類別区分の内容を変更しております。前年同四半期比較にあたっては前年同四半期分を変更後の区分に組み替えて比較しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、65百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,400,000	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,400,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	11,400	-	1,500,500	-	1,194,199

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 15,800	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 11,380,100	113,801	-
単元未満株式	普通株式 4,100	-	-
発行済株式総数	11,400,000	-	-
総株主の議決権	-	113,801	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
仙波糖化工業(株)	栃木県真岡市並木町 2丁目1番地10	15,800	-	15,800	0.13
計	-	15,800	-	15,800	0.13

（注）発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,232,426	2,080,864
受取手形及び売掛金	3,376,666	3,558,222
有価証券	399	399
商品及び製品	1,270,871	1,386,766
仕掛品	349,904	288,524
原材料及び貯蔵品	524,868	591,669
繰延税金資産	120,326	104,950
その他	329,042	269,239
貸倒引当金	5,943	4,235
流動資産合計	8,198,564	8,276,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,043,876	3,016,026
機械装置及び運搬具(純額)	2,013,933	1,971,408
その他(純額)	720,374	698,226
有形固定資産合計	5,778,184	5,685,661
無形固定資産		
投資その他の資産	51,870	48,925
投資有価証券	1,047,836	1,151,898
繰延税金資産	388,300	340,530
その他	325,768	300,735
貸倒引当金	17,918	18,385
投資その他の資産合計	1,743,986	1,774,779
固定資産合計	7,574,041	7,509,366
資産合計	15,772,606	15,785,767

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,818,331	1,768,445
短期借入金	2,384,767	2,598,784
未払法人税等	37,233	2,450
賞与引当金	217,569	112,055
その他	726,999	804,749
流動負債合計	5,184,901	5,286,485
固定負債		
長期借入金	2,226,226	2,148,105
退職給付引当金	1,136,446	1,139,426
資産除去債務	50,764	50,900
その他	318,482	307,230
固定負債合計	3,731,919	3,645,662
負債合計	8,916,821	8,932,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	3,840,560	3,766,300
自己株式	4,952	4,952
株主資本合計	6,539,218	6,464,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371,858	442,204
為替換算調整勘定	55,292	53,543
その他の包括利益累計額合計	316,566	388,661
純資産合計	6,855,784	6,853,619
負債純資産合計	15,772,606	15,785,767

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,469,255	3,631,435
売上原価	2,799,464	2,976,981
売上総利益	669,791	654,454
販売費及び一般管理費	637,112	598,411
営業利益	32,678	56,043
営業外収益		
受取利息	594	794
受取配当金	8,219	10,279
受取補償金	8,532	-
その他	3,968	3,415
営業外収益合計	21,315	14,489
営業外費用		
支払利息	9,170	7,430
持分法による投資損失	15,909	11,272
為替差損	2,711	541
その他	1,106	1,486
営業外費用合計	28,897	20,730
経常利益	25,095	49,801
特別損失		
投資有価証券評価損	1,403	6,715
退職給付費用	28,450	-
固定資産除却損	5,423	-
特別損失合計	35,277	6,715
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	10,181	43,085
法人税、住民税及び事業税	1,866	2,174
法人税等調整額	4,852	24,097
法人税等合計	6,719	26,272
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	16,901	16,813
四半期純利益又は四半期純損失()	16,901	16,813

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	16,901	16,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,120	70,345
為替換算調整勘定	2,081	4,983
持分法適用会社に対する持分相当額	8,469	3,234
その他の包括利益合計	18,508	72,094
四半期包括利益	35,409	88,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,409	88,908
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	29,280千円	29,705千円
支払手形	14,266	19,008

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	179,337千円	194,308千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	91,073	8.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	91,073	8.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	1円48銭	1円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	16,901	16,813
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	16,901	16,813
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,384	11,384

(注)前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

仙波糖化工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松田 道春 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鎌田 竜彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている仙波糖化工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、仙波糖化工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。